

2022 年 4 月 12 日

報道関係各位

【武蔵野美術大学】大日本印刷、マルトモと産学連携で

かつお節のパッケージデザインを開発し商品化

～武蔵野美術大学の学生が「かつお節とだし」の価値を捉え直したパッケージデザインが誕生～

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：長澤忠徳、以下：本学）は、大日本印刷株式会社（本社所在地：東京都新宿区/代表取締役社長：北島義斉、以下：DNP）、マルトモ株式会社（本社所在地：愛媛県伊予市/取締役社長：今井均、以下マルトモ）と連携して、「かつお節とだし」の価値を若い感性で捉え直すことで、新たなパッケージの開発を行いました。

今回、本学の学生がパッケージデザインを制作した「花かつお」は、2022 年 9 月にマルトモが期間限定商品として発売する予定です。

未来のあたりまえをつくる。

DNP

感動を、けずりだそう。

マルトモ

武蔵野美術大学
Musashino Art University



商品化が決定した「花かつお」の最優秀作品（左）と、3者によるプレゼンテーションの様子（右）

概要

- この商品は、企業と教育・研究機関がともに企業・団体・商品の新しい価値を創出することを目的に、今回 DNP・マルトモ・本学がコラボレーションを行うことで生まれました。
- 本学の学生が制作したパッケージデザインは、花かつおでとっただしの旨みや味の深さを鮮やかな色彩と構成で表現。売り場で映えるデザインに仕上げています。
- 3者による新商品開発の共創活動の流れは次の通りです。

- 「かつお節の価値の再発見と利用機会の増大を期待した新商品」としてのパッケージデザインの開発を目的に、DNP が運用するオープンイノベーション拠点「DNP プラザ」（東京都新宿区）で 2021 年 11 月 25 日（木）に開始しました。
- まず、本学の学生 10 名に向けて、マルトモの土居幹治常務取締役マーケティング本部長が「かつお節とだし」や和食文化に関する特別講義とオリエンテーションを実施。
- その後、DNP の Life デザイン事業部イノベティブ・パッケージングセンターの社員によるパッケージデザインの講義や、本学卒業生のクリエイターである株式会社ヘソ（東京都国分寺市）の指導のもと、各種フィールドワークやワークショップを行いました。
- 学生が制作したデザインについて、2022 年 3 月 30 日（水）にマルトモの今井均社長に対してプレゼンテーションを実施。同日、最優秀作品が選抜され、マルトモの新商品として 2022 年 9 月に発売される予定です。

* DNP プレスリリース : https://www.dnp.co.jp/news/detail/10162407_1587.html

< 本件に関するお問い合わせ先 >

武蔵野美術大学 事業推進担当

03-5206-5311 / ichigaya_campus@musabi.ac.jp / 担当：武藤